

# 岩手県 I 援隊だより

## 岩手県（釜石）派遣隊より

（「I 援隊しずおか」より）

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ

### がんばろう！ 岩手

Vol. 52（平成 28 年 11 月 25 日）

#### ■ 被災地に甚大な被害を与えた「4つの台風」

8月16日から9月1日までの約2週間、岩手県では台風7,9及び11号に関連した豪雨、岩手県大船渡市付近に上陸した台風10号による暴風雨により、東日本大震災津波の復興工事が進む沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。

10月末現在の災害報告によると、県や市町が管理する土木施設の被災数は2,299箇所であり、その被害額は約802億円で、これは岩手県の災害による被害額としては東日本大震災に次ぐ大きさです。

岩手県県土整備部では、公共土木施設の早期復旧に向けて、災害査定を11月上旬（第3次）から翌年1月下旬（第11次）までの計9回、延べ104班の体制で実施しています。

今回の台風による豪雨等で静岡県派遣職員が担当する水門及び防潮堤工事には大きな被災はありませんでしたが、台風及び東日本大震災により被災した箇所の早期復旧に向け、岩手県職員及び静岡県派遣職員が一丸となって取り組んでいきます。

#### ■ 大槌川水門の「仮締切堤護岸」

台風10号に伴い増水した大槌川では、昨年度完成した大槌川水門工事の仮締切堤護岸の一部が崩落しましたが、速やかに崩落した連結ブロックの撤去や袋詰玉石の設置などの作業を施し、10月末に応急復旧が完了しました。

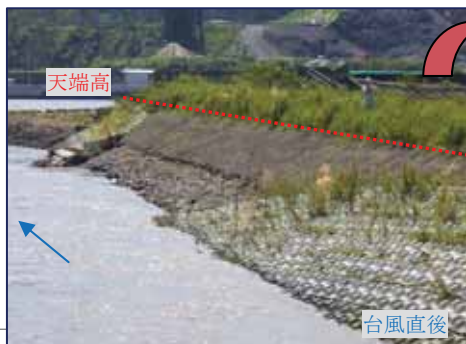


高齢者グループホーム「楽ん楽ん」近傍（岩泉町）



主要地方道 釜石遠野線（釜石市）

大槌川水門工事現場内の仮締切堤護岸の被災状況



## ■ 復興の架け橋「希望郷いわて国体」・「希望郷いわて大会」開幕！

東日本大震災発災後、被災地で初めて行われる国民体育大会「希望郷いわて国体（10月1日～11日）」と、全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会（10月22日～24日）」が県内で開催されました。

冠称の「東日本大震災復興の架け橋」は、全国と被災地域の結びつきを架け橋に例え、また、今大会が復興のシンボルとして復興とその先の明るい未来への架け橋となるよう願いが込められたものです。岩手県は、国体開幕まで約1ヶ月と迫った頃に、各地で台風10号による甚大な被害を受け、軟式野球を予定していた岩泉町では同町での競技開催を断念するなど国体運営にも大きな影響が及びました。しかし、全国の選手団を万全な体制で受け入れ、46年ぶりの国体を「懸け橋」として成し遂げることに県民が一丸となって尽力したことで、両大会の成功を収めることができました。

大会中には多くの選手や応援の方々が被災地や観光地を訪れ、県内各地に大きな賑わいをもたらすとともに復興への歩みに勇気を与えてくれました。



ラグビーフットボール  
成年男子（釜石市）



10.1 いわて国体開幕「盛岡さんさ踊り」



10.24 いわて大会閉幕「次回開催地は愛媛県！」

## ■ 杉保交通基盤部理事及び井ノ口道路局長が視察に訪れました。

10月19日に杉保交通基盤部理事が、11月11日には井ノ口道路局長及び志村農地局長が沿岸広域振興局を訪れました。静岡県派遣職員が担当する水門及び防潮堤工事の現場を視察した後、小向沿岸広域振興局長と被災地の復興状況や台風10号の被害、静岡県が取り組む津波対策事業等について意見交換されました。



10/19 鷺住居川水門工事の視察状況



小向沿岸広域振興局長と意見交換をする  
杉保理事



11/11 甲子川水門工事の視察状況

## ■ 各所で「現場見学会」が開かれています。

沿岸広域振興局では、住民の方々に釜石市及び大槌町内の震災復興事業への理解を深めていただけるよう現場見学会を開催しています。静岡県派遣職員が担当する水門及び防潮堤工事は、8月下旬に鵜住居川水門、9月下旬には小鎚川水門、11月上旬には片岸海岸防潮堤の各工事で現場見学会を開催し、担当職員が工事の説明や住民の質疑に応答しています。11月下旬には甲子川水門工事の見学会を開催します。



齊藤主査、鈴木(広)主査

小鎚川水門 現場見学会



岩井主査

片岸海岸防潮堤 現場見学会



植田主査

鵜住居水門 現場見学会



## ■ 「あっぴりレーマラソン」に挑戦！

9月11日、岩手県北西部に位置する安比高原を会場に、チームで襷を繋げて走る「安比りレーマラソン」が開催されました。この大会に、沿岸広域振興局土木部は「釜石復興10人衆」チームを編成し、静岡県派遣職員からは植田主査、齊藤主査、金子技師が一員として参加しました。

当日は晴天にも恵まれ、静岡県派遣職員は高低差を1人2周担うことで、チームの42.195km完走に貢献しました。



42.195kmを完走した「釜石復興10人衆」の激しい1周2kmのコース

## ■ 「かまいし仙人峠マラソン」にも挑戦！

10月30日、第7回かまいし仙人峠マラソン大会が開催され、健脚を誇る齊藤主査が10kmコースに参加しました。釜石市と遠野市の市境にある仙人峠は県内でも有数の紅葉の名所ですが、齊藤主査は紅葉が彩る絶景には目もくれず、標高差約400m、平均斜度約5%の険しい峠道を力強く駆け抜けました。



↓ 齊藤主査

谷川真理さん(右から2番目)と記念撮影  
(※1991 東京国際マラソン優勝)

平成28年度 岩手県派遣メンバー

岩手県 沿岸広域振興局 土木部

復興まちづくり課 復興第三チーム：鈴木健支、鈴木広和、植田勝久、

齊藤達矢、岩井博晴、金子裕紀

(本号編集者 金子)